

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

みなさま、初詣にはいらっしゃいましたでしょうか。

私は近所の氏神さんへお詣りに行きました。「ほかの神社にも行きたいなあ、久しぶりの伊勢神宮か、二見浦か・・・」と考えましたが、伊勢神宮はもちろん、二見浦も1月中は大混雑でしょう。近畿圏で静かなところ・・・と、考えるともなくテレビをザッピングしていると、「美具久留御魂神社」という文字が映りました。きれいな字面に魅かれ検索してみると、家から電車で40分弱、最寄り駅は「喜志」という縁起の良さそうな駅名だったので、早速行ってみることにしました。

「みぐるみたま」と読むこの神社は、社殿によると、崇神天皇10年（紀元前88年）、この地にしばしば大蛇が出没したので、天皇自ら視察して「これは大国主命の荒御魂によるものである」として大国主命を祀らせたのに始まり、大国主命を主祭神としています。

本殿の裏山は古墳群となっており、この山をご神体としているそうです。

崇神天皇は、天照大神の御杖代として諸国を旅し、神託により伊勢に内宮を創建したとされる「倭姫命」の祖父にあたります。倭姫命ファンの私としては、三重でも奈良でもなく大阪で、倭姫命と所縁のある人物に触れることができ、うれしくなりました。

1000年ほど時代を下って南北朝の頃には楠木正成が、上水分社（建水分神社）と共に下水分社（美具久留御魂神社）と称し、楠木氏の氏神として信仰していたそうです。「水分」の字からわかるとおり、水をつかさどり、山からの水を配分する神で、水源地や水路の分水点などに祀られています。

水に関する神様のいる場所は、ひときわ清らかな空気ながれているのが特徴のように思いますが、こちらの神社の境内もとても気持ちのよい場所でした。

本殿で、参拝の機会を頂いた事への感謝を祈り、帰路につきました。行きとは別の道をぐるりと大回りして駅の反対側にたどり着くと、駅前に「聖徳太子御廟」と書いた大きな石碑を見つけびっくりしました。家の近所には、聖徳太子が建立した「四天王寺」があり日ごろから親しみを感じているので、ご縁がつながっていることを確認させてもらったように思いました。駅前からバスで10分ほどの叡福寺の古墳に埋葬されているそうですので、次回は行ってみたいと思います。後で調べると、聖徳太子が記した「未来記」という予言の書が四天王寺にあり、それを読んだ楠木正成は自らの天命を悟ったといわれているそうです。なんだか楠木正成にも親近感がわいてきました。

たまたまテレビで見かけたことがきっかけの参拝でしたが、「ただの思いつき」も侮れないものです。偶然は必然だと思わずにはいられない年の初めでした。

2018年も、システムを介して結んでいただいたご縁を大切に、業務に邁進いたします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

お正月明けは、すこし暖かい日がありましたが、最強寒波の影響はすさまじいですね。中部・関東地方は慣れない大雪でいろいろご不便かと存じますが、風邪などひかれませんようにお過ごしくださいませ。



拝殿



おしゃれな神紋が気に入りました。



拝殿の裏にまわり、階段を登っていくと、本殿があります。このあたりは特に気持ちのよい場所でした。